

各 位

会 社 名 株式会社 ハピネット
代表者の役職氏名 代表取締役社長 苗手 一彦
連絡先 役職氏名 取締役 副社長 藤井 恒雄
電 話 番 号 03-3847-0521
(コード番号 7552 東証第1部)

～「ハピネットトータルロジスティクスシステム」の完成に向け～

「新物流センター」建設について

■365日24時間体制の物流システムを構築

■2001年9月稼働開始予定

株式会社ハピネットでは、玩具卸売業最大手として、これまで着々と関連業界の最先端を行く物流改革を進めてまいりました。こうした中、昨年来検討を重ねてきた「新物流センター」建設計画が先頃の取締役会で承認され、来年9月稼働を目前に着手する運びとなりました。

当社では平成5年、「夢改善プロジェクト」と称する物流改革プロジェクトを立ち上げ、改革の第一歩を踏み出して以来、全社統合物流の実施、そしてトータル物流システム「ハピネットトータルロジスティクスシステム」完成に向けてと、これまで着々と物流改革を進めてまいりました。その成果が認められ、イー・ショッピング・トイズ(株)、プレイステーション・ドットコム・ジャパン(株)、(株)セブンドリーム・ドットコムから物流部門を受託するという実績を残すことができました。更に数社とのプロジェクトを進めております。

こうした中、昨年来検討をかさねてきました新センター建設計画が、本年8月9日の取締役会で承認され、いよいよ実施の段階に入りました。この承認に基づき、9月22日には、事業用定期借地権を利用したオーダーリース形式での物件契約を締結いたしました。

立ち上げに際しては、「新物流センター」建設に関連する各会社担当部門もプロジェクトに迎えることができ、来年9月稼働を目指し活動を開始いたしました。

「新物流センター」は千葉県市川市の約4,000坪の敷地に建設され、主に首都圏エリアへ向けての配送センターとして、365日24時間対応のサービスの提供を予定しております。

また、この新センターは「ハピネットトータルロジスティクスシステム」の完成を目指して進めてきた物流改革のモデルセンターとして、業界内及び業界外に向けて、ハピネットの情報と連動した物流システムのショールームとしての役割を持たせています。

「新物流センター」は、ハピネットがこれまでに構築してきた情報システムと連動した物流機能の集大成であり、高品質・高サービスの物流とローコスト運用体制を実現します。更に着々と進めている物流改革の中で、その中核的機能や戦略的機能の実現を果たし、事業拡大や利益拡大に大きく貢献できるものと確信しております。

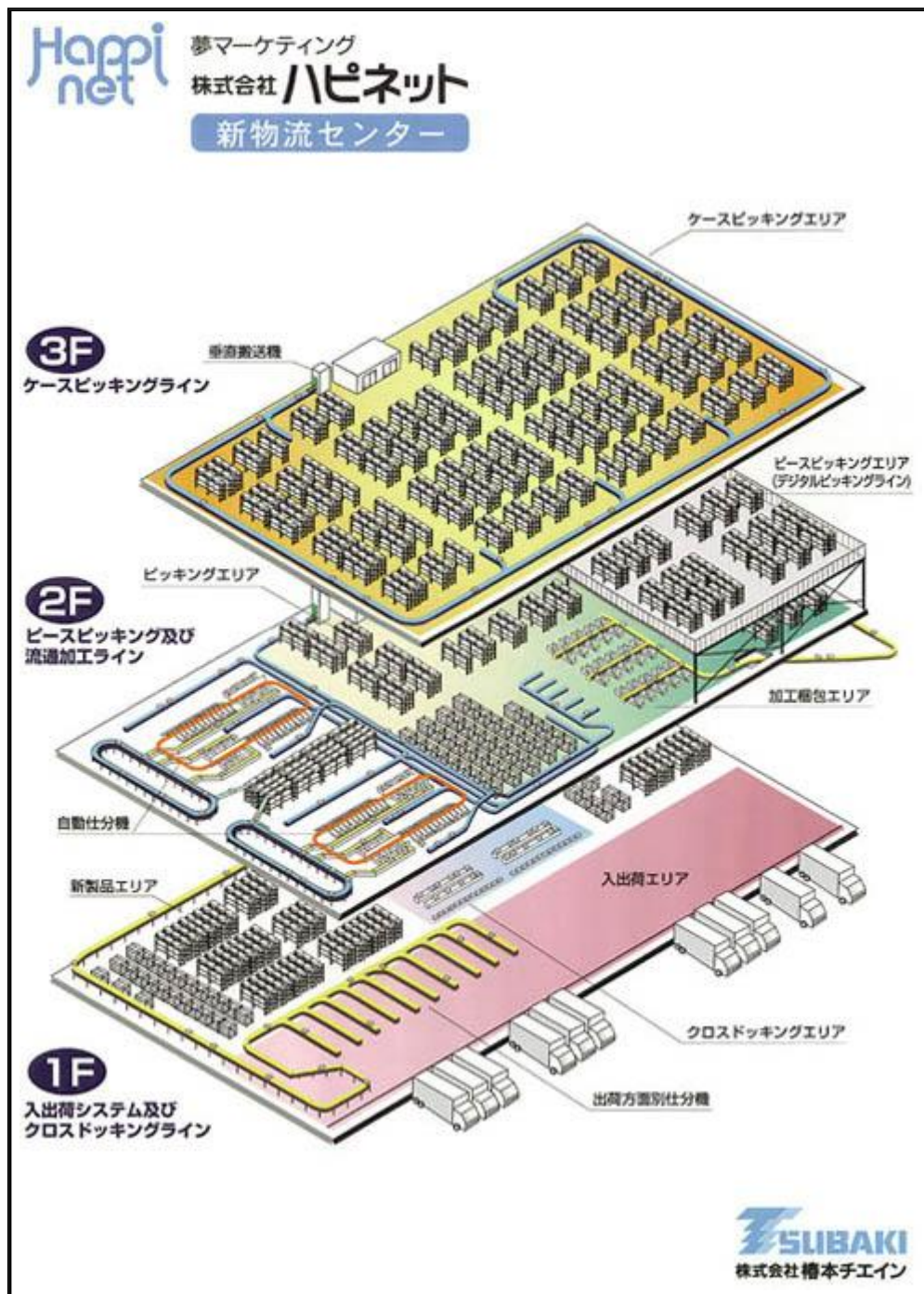
「新物流センター」建設プロジェクトの事業予算は、約10億円を見込んでいます。

「新物流センター」建設概要

- 建設地 : 千葉県市川市二俣新町17-18
- 土地面積 : 13,081m²(3,960坪)
- 建物構造 : 鉄骨造
- 建設規模 : 延床面積 24,741m²(7,484坪)
倉庫棟3階建 22,862m²(6,916坪) *1フロア—約2300坪
事務棟3階建 1,879m²(568坪)
- 主要機能 : 首都圏配送センター
- 扱い商品 : 玩具、雑貨、育児、TVゲーム、DVDソフト等
- 建設計画 : 着工予定 平成12年12月
竣工予定 平成13年7月
稼働予定 平成13年9月
- 協力会社 : 建築 大和ハウス工業株式会社
設備機器 株式会社椿本チエイン、椿本興業株式会社
情報システム開発 株式会社アイ・シー・アール
コンサルタント 株式会社日本能率協会コンサルティング

新物流センターコンセプト

1. 今後の扱い商品の拡大に対応するとともに、業界共同物流の基盤構築を行う。
2. 当社情報システムと連動した物流システムのモデルセンターと位置付けし、事業拡大機会を創出する。
3. 首都圏エリアの配送センターとして、365日24時間対応サービスおよび品質精度99.999%を実現する。
4. 機械化によるコストダウン推進を行うと同時に、作業者には安全を第一義に働きやすい環境を提供する。
5. 新センターと既存船橋センター(自社所有)の近接立地を有効活用し、最適な拠点運営をはかる。
6. このセンターをモデルセンターとして、地方物流拠点の最適化及びネットワーク化を推進する。



●(仮称)株式会社ハピネット 新物流センター完成予想図



大和ハウス工業株式会社 標準建築事業部



大和ハウス工業株式会社 標準建築事業部